



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

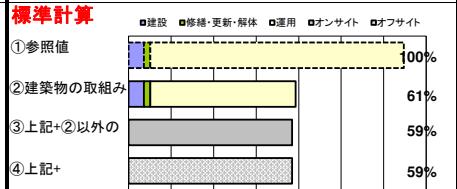
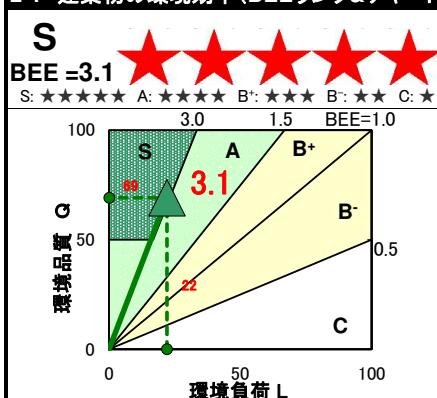
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)フレスコ阿波座	
建設地	西区立売堀6丁目	
建築用途	物販店	
建築主	大和リース(株)	
設計者	(株)竹中工務店	
敷地面積	6,115.30	m ²
建築面積	5,087.44	m ²
延床面積	9,625.17	m ²
構造/階数	S造	/ 地上3階
完了年(予定)	2022年11月	

1-2 外観

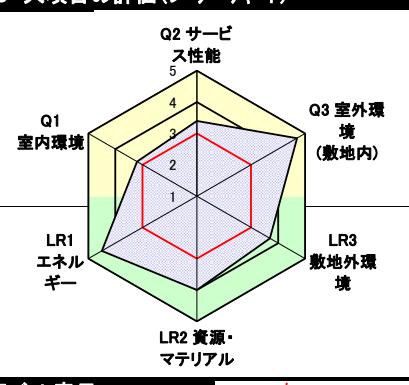


2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

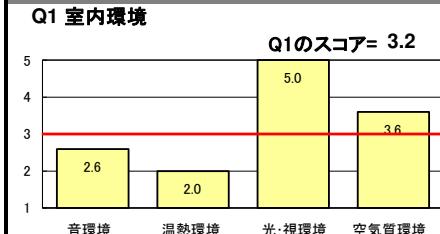


ラベル表示

有

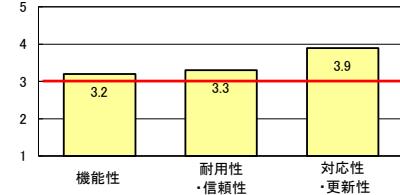
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4



Q3 室外環境 (敷地内)

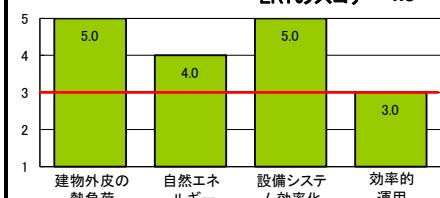
Q3のスコア= 4.7



LR 環境負荷低減性

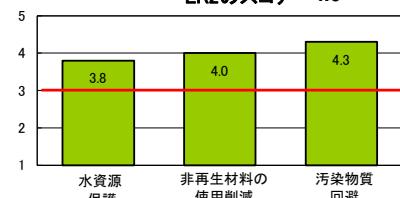
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5



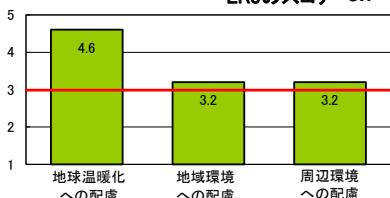
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.0



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7



3 設計上の配慮事項

総合

「阿波座ライフスタイルコア～文化・環境・健康でつながる、健やかで賑わいあふれるみんなの居場所」を実現し、SDGsへ貢献できる地域の中心地になることを目指す。

そのためお客様、従業員の満足度向上のため利便性・安全性・安心感を追求した施設とする

その他

特に無し

Q1 室内環境

光環境への配慮として、東側駐輪場は自然光と壁際とスポット配置した上下配光の照明器具により適切な照度を確保する。また、30 CMH/人の新鮮外気導入（冬季は加湿）により適切な空気環境とする。

Q2 サービス性能

災害時の対策として、14時間運転可能な非常用発電機・オイルタンクを設置し、1・2階共用通路・W.C.の照明・コンセント等、加圧給水ポンプに電源供給する。また、1階キューピタルは浸水を考慮し、1FL(TP +0.5m)以上の高さに設置する。

Q3 室外環境 (敷地内)

建物利用者が安心して買い物できるよう各所にITVを行って設置し監視を行う。近接した島津公園と調和した健康的なまちなみの形成を図り、植栽計画については公園との連続性に配慮し、常緑樹と落葉樹を組み合わせ、季節を感じられるよう演出。

LR1 エネルギー

太陽光発電パネルを設置し、再生可能エネルギー利用を図る。

LR2 資源・マテリアル

節水型便器、自動水栓を採用し節水を図るとともに、屋上雨水の一部を貯留し、1階外構の灌水・散水に利用するなど地球環境に優しい設備を導入する計画とした。

LR3 敷地外環境

敷地周辺環境に配慮し、駐車場は光源が見えないポール灯、スロープは壁による遮光を計画する。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 3.1

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	4.6 LCCO2排出率を抑制している
配慮事項	省エネルギー設備を採用し、LCCO2排出量を減らす取組みをしている

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	5.0 周辺と同樹種を選定、緑を連続させ、動物の移動距離に配慮
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	敷地内や建物緑化を行なうなど敷地内みどり環境を整備

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0 BPI=0.68
配慮事項	断熱性能の高い建材の使用

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	5.0 BEI=0.56
配慮事項	LED照明などの省エネルギー設備を採用

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能 対象外 (相当)	0.68
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量 0.56	
住宅部分[BEI]	-
非住宅部分[BEI][BEIm]	0.56